

デンカRIS防錆パウダー

NEXCO構造物施工管理要領（鉄筋防錆材の性能照査項目）適合品
JR西日本（防錆材料の品質基準）適合品

DENKA

電気化学工業株式会社

1 はじめに

RIS防錆パウダーは、再乳化型粉末樹脂をドライミックスした鉄筋防錆用材料で、施工現場で特殊亜硝酸塩を主成分とする水溶液「RIS111」で練混ぜ、鉄筋に塗布することにより、鉄筋を発錆から防ぎます。

2 特長

- 亜硝酸塩と特殊粉末ポリマーの効果により優れた防錆性能と付着性を有します。
- 現場で「RIS111」と練混ぜるだけで使用できます。

3 用途

- コンクリート構造物の鉄筋の防錆

4 構成

- RIS防錆パウダー 12.5kg （灰色粉体；紙袋入）
- RIS111 5kg、20kg （青色液体；金属容器入）

(RIS 111の性状)

| 主成分 | 外観 | 固形分(質量%) | 粘度(mPa・s) | 密度(g/cm ³) | pH | 揮発性 | 可燃性 |
|--------|---------|----------|-----------|------------------------|------|-----|-----|
| 特殊亜硝酸塩 | 透明淡青色液体 | 24~26 | 10以下 | 1.15 | 10.5 | なし | なし |

5 配合

| 項目 | RIS防錆パウダー | RIS111 | 塗布量 |
|--|-----------|--------|---|
| 1袋当たり (kg) | 12.5 | 5.0 | 600~900 g/m ² (標準 750g/m ²) |
| m ³ 配合 (kg/m ³) | 1350 | 540 | |

RIS防錆パウダー1袋で約19m²分の鉄筋表面に塗布できます（標準塗布量でロス20%見込む）。

6 性能

| 要求性能 | 試験項目 | 基準値 | 結果 | |
|-------------|------------|--------------------------|-----------------------------|---------|
| 防錆性 | 防せい性試験 | 処理部 | 防せい率 50%以上 | 94%(合格) |
| | | 未処理部 | 防せい率 -10%以上 | 54%(合格) |
| 鉄筋との付着性 | 鉄筋に対する付着強さ | 7.8 N/mm ² 以上 | 15.3 N/mm ² (合格) | |
| コンクリートとの付着性 | 耐アルカリ性 | 塗膜に異常が認められないこと | 異常が認めない(合格) | |

東日本高速道路(株) 中日本高速道路(株) 西日本高速道路(株) 構造物施工管理要領(H22.7)

表3-5-1 鉄筋防錆材の性能照査項目による。

試験機関；一般財団法人日本塗料検査協会西支部

7 物性例

| 環境温度 (°C) | 流動性 (mm) | 硬化物性 (N/mm ²) | | |
|-----------|----------|---------------------------|-------------|-------------|
| | | 試験項目 | 材齢7日 | 材齢28日 |
| 20 | 123 | 曲げ強さ 圧縮強さ | 5.5 22.4 | 6.2 28.8 |

試験方法 流動性： JASS-15M-103による。(φ50×h51mmコーン)
 硬化物性： JIS A1171に準ずる。(20°C-80%RH養生)

8 施工手順

手はつり、ウォータージェットにてはつり落とした後、次の処理を行う。

- 高圧水または高圧エアを用いて、断面の塵芥を拭き落とす。
- 錆の出ている鉄筋は、サンドブラスト、ワイヤブラシ等で除去する。
- 傷みの著しい鉄筋は補修する。

現況調査
↓
 はつり工
↓
 防錆処理工
 ①混練
 ②塗布
 ③養生
 ↓
 断面修復工



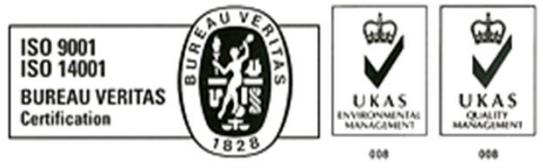


均一になるよう1~2分攪拌する。

- ②塗布作業
刷毛を使用して鉄筋表面に均一（塗布量600~900g/m²）に塗布する。鉄筋の異形部分が埋まらないように塗布する。
- ③養生
施工後は、直射日光、雨水、風、凍結を避ける。次工程（断面修復材の施工）までの養生期間は24時間以上とする。

9 使用上の注意

- ハンドミキサーはステンレス製回転羽を使用して下さい。
- 噴霧による塗布作業は絶対にしないで下さい。
- 他のセメント、砂、混和材（剤）等を加えないで下さい。特に酸性物質の添加は有害なNOxガスを発生しますので絶対に行わないで下さい。
- 使用した器具はできるだけ早く、水洗いして下さい。



データ等記載内容についてのご注意

- 本書記載のデータ等記載内容は、代表的な実験値や調査に基づくもので、その記載内容についていかなる保証をなすものではありません。
- ご使用に際しては、必ず貴社にて事前にテストを行い、使用目的に適合するかどうかおよび安全性については、貴社の責任においてご確認ください。
- 本書記載の当社製品およびこれらを使用した製品を廃棄する場合は、法令に従って廃棄してください。
- ご使用になる前に、詳しい使用方法や注意事項等を技術資料・製品安全データシートで確認してください。
- これらの資料は、当社の担当部門にご用意してありますので、お申しつけください。
- 本書の記載内容は、新しい知見により断りなく変更する場合がありますので、ご了承ください。

警告

- 水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こします。
- 目に入れないこと。入った場合は、直ちによく洗浄し、専門医の診断を受けること。●皮膚に付けないこと。
- 鼻や口に入れないこと。●保護メガネ、防塵マスク、ゴム手袋を着用すること。●子供に触れさせないこと。